

ラグビーボールを使った 「島オニ」に挑戦!

うんどうの達人プログラム

【4・5歳児対象】

準備物

- ラグビーボール
- 笛
- フープ4~5個

3つのポイント『楽しさ』『コミュニケーション』『体力向上』

STEP 1 ボールを使用する際のお約束&準備運動

10分

環境構成

- 活動前にボールを準備しておく
→ お約束確認用に一つボールを持っておく



活動の進め方

- ① 子ども達へボールを見せ、興味を持ってもらう
→ 先生は「どんな形をしている?」「重さは?」「硬さは?」など声かけを行う
→ ビーナッツの様な形をしているのでボールが不規則に動く為、跳ねたボールに当たってしまうことや、ボールをお友達にぶつけると痛いということを説明する
- ② 後ほどボールを使って楽しむことを伝え、子ども達にはまだボールに触らせない
- ③ 準備運動は一般的な「膝の曲げ伸ばし」「アキレス腱伸ばし」など、慣れているものを実施する
→ 準備運動の際に「今日は楽しくたくさん動こうね!」などと、子ども達がワクワクするよう声かけを行う

STEP 2 導入(ストップ&ゴー)(島オニ)

10分

ストップ&ゴー

環境構成

- 一人一人の間隔を大きく取る
- 事前に危ない箇所などにマーカーやカラーコーンなどを置き、子ども達に近づかせないようにする

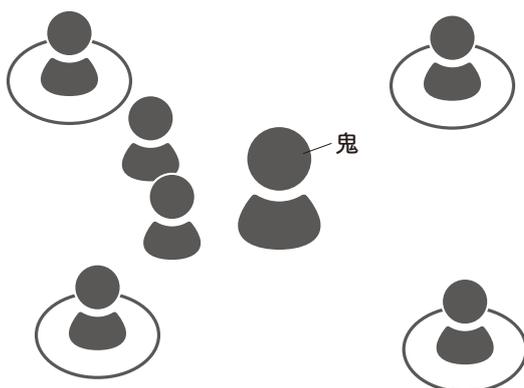
活動の進め方

- ① ゆっくり歩きながら(歩くコースは定めない)笛の合図に合わせて立ち止まる
→ ぶつかったりころんだりしないように注意を促す
→ 止まる際のポーズを変えるなどして変化をつけて楽しむ
→ 動きに慣れてきたら、スピードを上げてみる

島オニ

環境構成

- 5~6人で1グループを作っておく
- フープを4~5個用意し、フープ同士の間隔を広く取り、ちりばめて置く
- グループの子ども達はフープ1つに1人ずつ入る(1人~2人はフープに入れない状態にする)



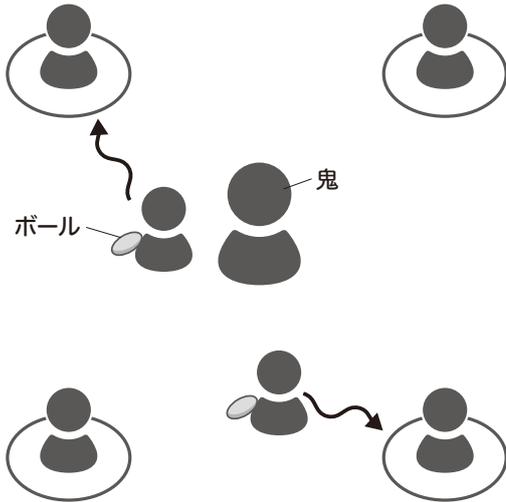
活動の進め方

- ① 島オニのルールを説明する
→ 鬼役を先生が行い、フープに入っていない子どもは、鬼にタッチをされないように逃げる
→ 逃げていない子どもはフープの中に入っている子どもにタッチをすることで、入れ替わることができる(フープ内は安全地帯)
→ タッチされた子どもはフープから出て鬼から逃げなければならない
→ 逃げているときに鬼にタッチをされてしまったら、その場ジャンプをすればまた逃げるができるなどの簡単なルールにしておく
- ② 実際に島オニに挑戦する
→ 初めは、子どもが上手に鬼から逃げながら、フープの中に入っている子どもとタッチが出来るくらいのスピードで鬼は追いかける
- ③ 動きに慣れてきたら、鬼にタッチをされてしまった子どもが、鬼と交代するなどルールを変えて楽しむ

パスを取り入れた島オニ

環境構成

- 島オニと同様に、フープを準備しグループの子ども達はフープ1つに1人ずつ入る(1人~2人はフープに入れないう状態にする)
- 子ども達が持つボールを用意する
- フープに入れず、最初に逃げる子ども達にボールを渡ししておく



活動の進め方

- ①パスを取り入れた島オニのルールを説明する
 - ➡導入で行った島オニとルールはほぼ同様
 - ➡鬼役を先生が行い、フープに入っていない子どもは、鬼にタッチされないようにボールを持ちながら逃げる
 - ➡タッチではなくフープの中に入っている子どもにボールを手渡しでパスすることで、入れ替わることができる
 - ➡パスを受けた子どもはフープから出て鬼から逃げなければならない
- ②実際にパスを取り入れた島オニに挑戦する
- ③動きに慣れてきたら鬼にタッチされてしまった子どもが、鬼と交代するなどルールを変えて楽しむ